

朝倉市

松末復興がわら版

3/4 朝倉市 復興計画策定委員会

災害公営住宅

3月4日(日)14時より朝倉市庁舎別館2階会議室で第4回朝倉市復興計画策定委員会が35名の委員のうち31名が出席して三谷委員長の議事進行で開催された。2月中旬の住民説明会とパブリックコメントを勘案した計画案が審議されたがほぼ原案に沿って決定した。

審議の中で災害公営住宅の建設場所について松末と久喜宮から疑義が出され20分間に渡り審議された。以下に語尾などを簡略化した全文掲載した。



3月6日朝倉市役所第二庁舎2階で「復興計画策定委員会」が開催された。

「三谷」パブリックコメントの10です。災害公営住宅は全ての地区の進捗表に矢印があると、全ての地区に公営住宅を作ると誤解されるのではという意見です。現在予定されているのは杷木小学校と甘木の石の橋団地跡。それ以外の地区については今後の意向調査によると聞いています。松末) 前回の意向調査は公開されていない。自分には元居たところに住みたいと

聞こえる。今回の計画では他の地区にも出来る可能性はあるというが、希望数がそれ以上あればいいが、そうでなかったら杷木小にしか住めない。甘木にしか住めないとの懸念がある。だから市民と行政が「帯」となるといって標語は「帯」ではないか? 「三谷」再度意向調査をするのと同じです。久喜宮) 昨年意向調査が行われたとありますが、結果がわからない。久喜宮の団地の今後は久喜宮の人が杷木小にしか住めないのか? 「三谷」次回の調査は公営住宅建設の場所を明確にして意向調査をするつもりです。その結果を見て現在場所の戸数は変更されると私は理解している。井上部長) 年末の調査は査定のために行った。その後2箇所に建設計画を発表しています。が、今回の調査では今の計画および他の場所の希望も聞きたい。このことについては各区域で説明したい。松末) 井上部長は変更もありうると言ったが現実にはそうじゃないとでしょ? 井上部長) 災害公営住宅の査定は、各区域で希望して

いる場所の安全が確保できるには時間がかかる。まず可能な建築戸数を示して、今後地域の意向と地域の安全を確認しながら整備を考えてゆきたい。松末) 委員長! 整理してください。査定の枠として68戸申請して認められたんでしょう。それなら杷木小は何ですか? 「三谷」それは希望調査に応じて今後変更がありうる。松末) ちがうやろ。委員長。井上部長) 杷木小学校の最大54戸。急いで住宅提供するには54戸建てると考えています。杷木小を希望される人が少ない時は調整もありうる。久喜宮) 確認しますが、54戸の建設場所は流動的だと考えていいんですか? 井上部長) 場所は決まっていますが、戸数は調整の余地がある。松末) 頭が悪いよわかからん。久喜宮) 市からの説明では確定したかのような話でしたが? 井上) 残り15戸だと新聞に書いてあった。井上) 今回の新聞にありました杷木小に54戸、甘木に14戸。それ以外の15戸の災害公営住宅の枠を持っている状況です。前回の意向調査では場所を特定して調査してなかった。また決めかねていた世帯も相当数あります。130

140戸ほど。それを勘案すると次回の調査では現在の戸数では足りない可能性が考えられる。杷木の54戸建て、次回の調査でそれを下回ればもう地域には立たないと懸念している質問と思う。今後の調査で地区の要望と合致した場所と戸数と今後も検討してゆきたい。松末) これでは地域住民に説明できない。井上部長) 説明できない。もともと居たところに宅地を造成したいと話し合っている。それから自力再建を考えている人もいます。それに対する国の支援があると思う。(略) 公営の住宅でも数が決まっています。松末) 出来たらもう余裕はないのではなにか? いま地元へ戻ろうという話し合いは無駄になってしまふ。もっとうまく説明してもらわんと地域で説明できない。副市長) 災害公営住宅の枠は使いました。しかし地域に要望があれば一般の公営住宅として要望に答える方向性は持っています。久喜宮) また同じことを質問します。杷木小に54戸は確定なのか? 久喜宮) 杷木小の安全なところに建設できるのか? まだ流動的な面があるのか明確にお願いします。副市長) 災害公営住宅の上限は決まっています。それ以外の要望には公営住宅で対応します。終わって後個別に説明を。松末) 全体の中で確認しとんと個別じゃいかんね。三谷) 杷木小に54戸作るの

確定じゃない? そうでしょう。そこですよ。井上部長) 杷木小に54戸という思いはありますが、要望に応じて今後も検討してゆきたいということですね。三谷) ほかの場所にも数を減らして立てることありうる。松末) 久喜宮) 間違いないですね。三谷) はい間違いないです。委員長が認めます! 井上部長) 災害公営住宅と災害を受けられた方への住宅の提供という選択肢があるが、要望に応じて提供してゆく所存。三谷) 数は確定、場所は未確定。次回の調査に応じて場所の変更がありうる。次に移ります。

九州豪雨を受け、朝倉市が市内2カ所での建設方針を表明している災害公営住宅と市営住宅について、市は4日、被災者のニーズがあつて安全な用地が確保できるなど一定の条件を満たせば、2カ所以外でも建設を検討すると表明した。2カ所から外れる松末、ますえ地区や久喜宮、くぐみや地区などの被災者や関係者から、家が近づくに住民説明会やパブリックコメント、意見公募で計112件の意見が市民からあつたことも報告。意見を受けて内容を一部修正した。最終案となつた復興計画案は9日に市会(提出)市議会の議決を経て3月中旬に決定される。末広浩)

建てた。寒水とか志波とかに団地をつくらせたが、星丸にも団地を作ったわ。建てた。松末) 団地を作った。ところが今回全部被災してしまつて、無くなつたものを条例を残せないと今の市議会条例を止す。松末) 小学校の児童数確保のためにというのを小学校閉校でも使えなくならない。元居たところのすみみと聞かえてくる。住まれないなら住みたい。それなら住まれない。市に言いたい。松末) 希望が、かなえられないようにアンケート調査などに十分考えて積極的に回答せにやいかん。災害公営住宅について今後もある可能性はあるが、策定委員会の議事録では場所と建てるといふことで確認している。

また災害公営住宅建設については、朝倉市は意向調査(アンケート)の結果を根拠に予算取得および計画しています。そして「今後未定」は政策に何も反映されません。長い目で松末の将来を考え、広い視点で回答してほしいと思います。次の世代に子供の歓声が聞こえる松末の残してやりたいと思います。

3/10 最終「区長会議」 災害公営住宅問題

3月10日(土)らくゆう館2階研修室で今年度最後となる区長会議が出席した。伊藤睦人区長からの解説では特に出水期対策(裏面)と災害公営住宅の2点について詳細な解説があった。以下に後者を掲載する。地元の学習会などでは松末に「公営住宅を建ててほしい」と出ている。その部分と市の復興計画理念との整合性がなく、言うことを聞かないと言ってきた。結論から言うと全壊世帯について

3/5 日 予定地以外でも建設

予定地以外でも建設

予定地以外でも建設

予定地以外でも建設

予定地以外でも建設

予定地以外でも建設